

別添資料

(神戸管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 平成 26 年度神戸管内舗装補修工事
- 受 注 者 : 大林道路(株)大阪支店
- 工 事 箇 所 : 兵庫県神戸市西区見津が丘～淡路市中田 (KP0.0～44.4)
- 工 期 : 平成 27 年 3 月 13 日 ～ 平成 28 年 2 月 29 日
- 請 負 額 : 421,705,915 円 (税込)
- 工 事 概 要 : 神戸管理センター管内(神戸西 IC～津名一宮 IC間)は、供用後 18 年を経過しており、各所で舗装の劣化が顕在化していた。このため、神戸管理センター管内の陸上部 12 橋梁において床版防水工を施工するとともに、本線及び垂水ジャンクション C ランプ土工部において 32,300 m²の切削オーバーレイ工を施工したものである。
切削オーバーレイ工 32,300 m²
橋梁の床版防水工 12 橋
- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に安全管理、施工及び技術力に優れている工事と認められましたので表彰するものです。
 - 交通量が多い区間において100回を超える交通規制（昼間～夜間）を実施し、工事を無事故・無災害で完成した。
 - 交通規制において、視認性の高い①LED 式標識車②大型バルーンを設置し、通行車両に注意喚起を行った。また、ダンプトラック等の誘導には専任の誘導員を配置し、大音量ホイッスルを使用するなどして交通規制区間での事故防止に努めた。
 - 飛び石飛散防止カバーを積極的に配置し、車線規制区域内での事故防止に努めた。
 - 施工機械にはバックセンサーを取り付けると共に、タイヤローラーには巻き込まれ防止ネットを取り付け、事故防止に努めた。



图-1. 神戸管内舗装補修工事施工区間図



写真-1. 夜間作業状況



写真-2. ランプ部車線規制状況



写真-3. 安全対策の一例
(大型バルーン)



写真-4. 安全対策の一例
(大音量ホイッスルによる車両誘導)



写真-5. 飛び石飛散防止カバーの一例
(縁石除去)



写真-6. 空調服着用
(縁石除去)

(鳴門管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 平成 25 年度亀浦高架橋剥落対策工事
- 受 注 者 : 三井住友建設(株)四国支店
- 工 事 箇 所 : 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池～字大毛
- 工 期 : 平成 26 年 3 月 19 日 ～ 平成 27 年 11 月 10 日
- 請 負 額 : 437,940,000 円 (税込)
- 工 事 概 要 : 亀浦高架橋において、第三者被害を未然に防ぐためのコンクリ

ート対策工及び塩害を防ぐ表面保護工を施工したものである。また、現場は、国立公園や、鳴門公園駐車場、県道及び漁港があり、それらの上空での作業には、第三者被害に対する安全確保が求められた。

コンクリートはつり工 約 100 m²

コンクリート断面修復工 一 式

剥落対策工 約 6,000 m²

表面保護工 約 4,300 m²

その他 一 式

- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に安全管理、施工及び技術力に優れている工事と認められましたので表彰するものです。

- 観潮シーズン等で施工に制約を受ける期間があったが、これらの制約をクリアした工程管理を実施し、円滑に施工した。
- 観潮船乗り場付近においては、万能堀により安全通路と作業ヤードを区別すると共に、交通誘導員を配置し、第三者優先の安全管理に努めた。
- 吊足場作業床に交差道路等の位置を明示し、落下物防止に対する安全意識の向上に努めた。
- 制約条件の多い現場であったが、地元住民や観光客等とのトラブルもなく無事故、無災害で工事を完成させた。



图一. 亀浦高架橋位置图



写真-1. 安全対策の一例
(安全通路と作業ヤードの区分)



写真-2. 安全対策の一例
(交通誘導員の配置)



写真-3. 安全対策の一例
(吊足場内の交差道路の明示)



写真-4. 夏休み時期の桁下駐車場



写真-5. 着手前状況



写真-6. 完成後

(しまなみ尾道管理センターより推薦)

- 工 事 名 : 因島大橋アンカレイジ上屋耐震補強工事
- 受 注 者 : (株)富士テック
- 工 事 箇 所 : 広島県尾道市向島町立花字石場～尾道市因島大浜町字大立場
- 工 期 : 平成 27 年 3 月 19 日 ～ 平成 28 年 2 月 11 日
- 請 負 額 : 102,575,700 円 (税込)
- 工 事 概 要 : 因島大橋アンカレイジ上屋の橋脚及び梁について、炭素繊維巻立て工による耐震補強を実施したものである。梁部の炭素繊維巻立て端部処理は、CF(カーボンファイバー)アンカー工を実施した。

炭素繊維巻立て工 977 m²

アンカー工 428 本

- 表 彰 理 由 : 当該工事は、当社が施工した工事の中で工事全般に優良であり、特に創意工夫や社会貢献が優れている工事と認められましたので表彰するものです。

- アンカレイジ上での施工となるため、足場が高所及び傾斜上での架設となったが、創意工夫によりコンクリートアンカー工の本数を大幅に少なくし、アンカレイジコンクリート本体への損傷を最小限にできた。
- 仮設備関係の安全対策を各種実施した。
- 現場事務所及び周辺地域の清掃活動を実施する等の社会活動、地域貢献等が顕著であった。
- JICA 研修に協力し、バキュームブラスト等のデモンストレーションを実施した。



图一1. 因島大橋位置图



写真-1. 足場架設状況



写真-2. 傾斜上での足場架設状況
(自在ジャッキベースの使用)



写真-3. 安全対策の一例
(安全チェック鏡の設置)



写真-4. 安全対策の一例
(ボルトカバーの設置)



写真-5. 地域の清掃活動への参加



写真-6. JICA 研修への協力
(バキュームブラストのデモ)